

③ 長崎街道ギャラリー



室町のD.C.タワー建設時に行われた発掘調査で、武家屋敷跡、町屋跡の井戸などが発見されました。タワー1階北側のウィンドウには、陶磁器から玩具まで、各時代の息吹が感じられる多くの出土品が展示されています。

④ 常盤橋



細川時代（江戸時代初期）に城下の西曲輪と紫川東側の東曲輪を結ぶ橋として架設されたといわれています。小倉から九州各地へのびる「五街道」の起点で、九州の要所、城下町小倉の中心として賑わいました。

⑤ 伊能忠敬顕彰碑



忠敬は寛政12（1800）年、55歳で土地の測量を始め、日本全国の測量と地図の作成という偉業を成し遂げました。九州では小倉の常盤橋が測量の第一歩となったことから顕彰碑が設置されています。

⑥ 参勤交代往還路



江戸時代、参勤交代の九州諸大名は常盤橋周辺の本陣で休泊した後、京町を通過して門司の大里湊へ向かい、江戸を目指しました。往還が商業施設内をつぎ抜けているため、その東西入口前の歩道に表示しています。

⑦ 西顕寺



幕末に灯台建設を目指した岩松助左衛門（→⑫）。小倉城には彼の偉業を伝える顕彰櫓がありますが、西顕寺には彼の墓が祀られています。

⑧ 生往寺



宝蔵院流高田派槍術（十文字槍）の始祖で、「槍の又兵衛」として有名な高田又兵衛の墓が祀られています。また、幕末の小倉藩の柔術家であり、方円流創始者の直方円斎の墓もあります。

⑪ 旦過市場



魚屋をはじめ、八百屋、果物屋、肉屋、惣菜屋などが軒を連ねる“北九州の台所”。旦過の名は、初代藩主忠真の父・秀政の菩提寺がそばにあり、門前の修行僧の宿泊所が「旦過寮」と呼ばれていたことに由来するといわれています。

⑩ 菅原神社



慶長7（1602）年、細川忠興が小倉城を築城したところから小倉府内（城下町）の氏神として、農業・漁業・商業・産業・交通の神々を祀り、信仰を集めています。また菅原道真公を祀っており、学問の神様としても親しまれています。

⑨ 欣浄寺



小倉藩主・小笠原忠真が兜の上にこの寺の子安観音菩薩像を頂き合戦に赴いたところ、数度の戦に一傷も負わず、多くの戦功を立てて帰陣したといわれます。この故事を詠んだ俳人・河野静雲の句碑もあります。

